

野生オランウータンの生息地の回復・再生事業

育苗樹種の数	30 種
森林の状況調査	5 回
活動の全体目標 に対する達成度	20%



森林内の林床の実生苗を育苗用ポットに移植する

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 多種（30 種）の樹木の苗を育てること、多様な森の復活への準備が進んだ。植林はこれまで、1 種を植える単一植林が多く、そのためのマニュアルは数あるが、私たちが目指す再生林は様相が大きく異なる。
- 工夫** オランウータンを観察すること。これまでの保護は、ヒトの頭で考えすぎたところに失敗の大きな原因がある。

課 題

オランウータン生息地である熱帯雨林は、開発や違法伐採や入植で荒廃が進んでいる。こうした土地を再びオランウータンの暮らせる森にし、生息地の保全を図りたい。

活動内容

オランウータンの保護の取り組みはいろいろあるが、生態研究に基づいたものはほとんどない。この活動は野生オランウータンの採食の研究をもとに、オランウータンが使える森を再生するにはどうしたらよいかを、研究者の観点で考えていこうというもの。

その豊富なデータをもとに、オランウータンが実際に森で食べている樹種を育苗し、オランウータンが好む木を育て、荒廃地にそれらを植樹することで、復元・回復を図ろうと取り組んでいる。



植えられた苗。播種、挿し木、移植などいろいろな方法を試している

今後の課題

この活動を今後も支えていくためには、多くの方々の理解と長期の展望が欠かせない。保護へのヒトの誤った認識を正し、生息地保全のために何をすべきかや、森を残していくことの大切さを広く伝えていく必要がある。